



さよなら、平成。
いざ、次の時代へ。

特集

- 1) 平成最後のヨロンマラソン
- 2) 平成最後“平成30年度”を振り返る

ひとの動き

【平成31年 3月末時点】

人口
5,203人
(男: 2,542人
女: 2,661人)

世帯数
2,589世帯

卒業式

平成30年度卒業生
小学校 56名、与論中学校 48名、
与論高等学校 31名

3月22日(金)、与論町の各小学校において、「平成三十年度 卒業式」が行われました。堂々とした子どもたちの姿、感動的でした。



成人式典

成人対象者 59名
式典出席者 55名 (男 29名、女 26名)

1月2日(水)、与論町 砂美地来館において、「平成三十一年 与論町成人式典」が行われました。懐かしい顔ぶれが一堂に会して、会場には笑顔が溢れていました。



おめでとうございます。
気持ち新たに、益々のご活躍をお祈りいたします。



今回、2回目

ランナーからの寄せ書き

応援してくれる子どもたちにお礼の気持ちを伝えたいというランナーが発起人となり始めた寄せ書き企画。各小学校に回覧したあとはサザンクロスセンターに展示しています。



今回、2回目

ヨロンマラソン美ら島企画

茶花小学校5年生が1年間を通して学んだ海洋学習の内容を1冊のパンフレットにまとめました。その内容をランナー全員に配布すると共に、ウェルカムパーティー会場で発表。「与論島の美しい海を守りたい」子どもたちの熱い想いに、会場の多くの方が耳を傾けていました。

※美ら島企画はこの他にも実施されています。

大会結果報告

開催日：2019年3月10日(日)

エントリー数：942名
(39都道府県より申込みあり)

出走者数：864名

完走者数：828名

内訳 フル 286名

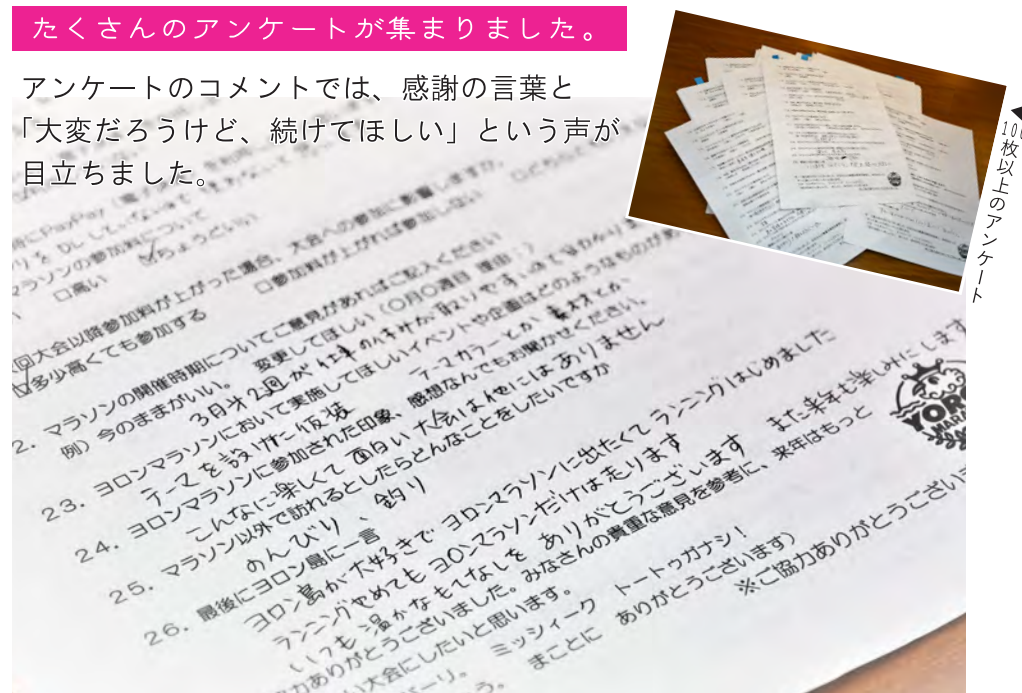
ハーフ 542名

完走率：約95.8%

◆大会記録はヨロンマラソンのHPよりご覧いただけます。

たくさんのアンケートが集まりました。

アンケートのコメントでは、感謝の言葉と「大変だろうけど、続けてほしい」という声が目立ちました。



ヨロンマラソンをきっかけに。

ひろがる

つながる



今回初！島のこども×観光PR (クッキー&手作りキーホルダー販売)

あなたにも、知ってほしい。



今回初！島外ボランティア (バケツ清掃)



今回初！島外ボランティア (大会前メダル作り)



毎回、感謝！ひまわりキッズと走ろう

ヨロンマラソンは走る人だけではなく島にいる皆が主役。「走るだけじゃない魅力」を増やして伝えていきたいと、今回も様々な企画が行われました。ヨロンマラソン大会の裏側を少しだけ紹介します。



毎回、感謝！郷土料理でおもてなし (ウェルカムパーティ)



毎回、感謝！学生ボランティア (ゴールでのハイタッチなど)



今回初！メッセージのぼり旗



毎回、感謝！集落等による給水所での応援

次回のヨロンマラソン大会は、2020年3月8日(日)開催予定です。

今回も無事に開催することが出来ました。皆さまのご協力に深く感謝いたします。

平成30年度 与論町のできごと

平成30年度は災害に見舞われた年でした。新しい年を迎え、新庁舎建設とあわせて、災害に強い町づくりを推進していきます。



▶建設予定地（旧診療所跡）での起工式

新庁舎建設、始まる。

庁舎棟・車庫棟・書庫棟及び来庁者用駐車場を整備する「与論町庁舎建設事業」は、平成30年12月4日に起工式が執り行われ、令和元年11月末の完成に向けて工事が開始されました。鉄筋コンクリート2階建て、非常用発電設備等を設置、町民の利用が多い課を1階に配置し、フライパシーに配慮した個室の相談室や授乳室、多目的ホール、町民の憩いスペースなどを設ける予定です。新庁舎建設に関わる町道の拡幅工事や公用車・職員用駐車場は今年度整備する予定です。新庁舎での業務開始は来年1月を予定しています。



▶新庁舎の完成予想図（仮庁舎入り口に展示）



災害

大型台風、襲来。



▶災害ゴミが溢れる清掃センター



▶窓ガラスが割れたサザンクロスセンター5階（写真は被災直後のもの）

昨年は度重なる台風で、サンゴ祭りは内容の一部中止、町民体育大会中止と、各方面で影響が出ました。特に被害をもたらしたのは、9月29日の台風24号。最大瞬間風速56メートル強、猛烈な風により、町内556棟の住家が被害を受けました。そして翌週には台風25号襲来。電気、固定電話、ネット回線等の復旧工事が長引きました。本年度は、大型台風が襲来しないことを切に願います。

この災害を受け、与論町ふるさと納税で復興支援に伴う緊急寄附受付フォームを開設したところ、全国から48件、約146万円の温かいご支援を頂きました。心より感謝申し上げます。頂いた支援金は、避難所等の備品購入に使わせて頂くなど、現在、活用方法を検討しております。



▶銀座通り商店街

50年に一度の豪雨

6月16日の台風6号により、1時間に90ミリ、総降水量は430ミリを越す猛烈な雨が降り、名瀬測候所は「50年に一度の記録的な大雨」と発表しました。茶花信号付近や空港下のトンネルなど島内各所で床下浸水や土砂崩れが相次ぎ、今後の対策に向け調査が進められています。

産業面への影響

水産業において水揚高は減少、商工・観光業では旅行者の入込客数が横ばい状態と天候不順の影響を受けました。しかし、さとうきびは2年連続で年内操業が行われ、生産量は前年より増加。畜産農家においても牛舎が壊れるなど被害が多数ありましたが、子牛の高価格での取引が見られ台風復興への励みになりました。



▶新年初せり

嬉しいニュースもありました。

平成30年度は「百合ヶ浜」「与論島」が様々なメディアや媒体において取り上げられ、注目を浴びました。



百合ヶ浜が
ランクイン!

▶平成30年 5月29日撮影

グランプリを獲得。

摂南大学(大阪府)と和歌山大学(和歌山市)の共催による日本初の「第一回日本国際観光映像祭」において、観光PR映像『Yoron Island Japan in 8X HD』が「与論島」(永川優樹監督作品)が日本部門でグランプリを獲得。旅のMIBメディア「タビジン」鹿児島県のお勧め観光地で「百合ヶ浜」が第1位にランクインするなど、国内外で話題になりました。他にも県が奄美各島で進めている「奄美トレイル」与論島コース開通や、上皇上皇后陛下下行幸啓の際、お立ち寄りになられた記念の地に「皇后陛下御歌碑」を設置するなど新たなできごとも。島を楽しみむきっかけになればと期待が広がります。



▶皇后陛下御歌碑
(大金久海岸南側)



▶奄美トレイルコース案内板
(与論空港)

受賞

高校生が商品開発、

「もずクリームコロッケ」県で最優秀賞に輝く!



▲与論島のもず入りコロッケ

鹿児島の食や環境を考える取り組みを行う「よい食・環境 鹿児島県民フォーラム」主催、県内の高校生を対象とした『第3回地産地消商品開発コンテスト』において、与論高校1年生(当時)のグループ、竹顕^{たかゆき}徹さん・朝岡里紗さん・平良美結^{みなみ}さん・林菜奈佳^{まなか}さんが考えた「もずクリームコロッケ」が総菜部門で最優秀賞に輝きました。

「魚が苦手な若者や子どもにも、おいしく食べてほしい」と、もずくを洋風アレンジする発想から挑戦したものの、もずくを大量に入れすぎたの真っ黒に焦がしたりの大苦戦。

「1年分のコロッケを食べた」というほど試作を重ね、「おいしい!」コロッケに仕上がりました。

最優秀賞作品は主催側により商品化が検討されるということです。



最終選考での
試食会と発表



▶何度も試作を
繰り返した。



もしかしたら、みなさんが
ずっと前から 待っていた
クリームコロッケかもしれません

コンテストへの応募は、家庭科(梅^{かこい}先生)の授業の一環で行われました。一年生全員が、さといもやマンゴーなど島の特産品を使って、今までになかったお惣菜やスイーツを作るなど、それぞれ工夫を凝らして商品開発に挑戦したそうです。



この少年の中からプロ野球選手が現れることを期待します！

真中監督の少年野球教室

平成31年2月5日（火）、元東京ヤクルトスワローズ真中監督が来島され、少年野球教室が行われました。
当日は、あいにくの雨となり多目的屋内運動場で開催となりましたが、小・中学校の少年達は目を輝かせプロの指導を受けていました。保護者も多く訪れ、貴重な少年野球教室となりました。

叙勲三名、法務大臣表彰

平成30年度、年に2回の春秋叙勲で3名の方が叙勲を受けました。
叙勲とは、長年、公共や社会に功労があった70歳以上の方（または、所定条件に該当する55歳以上）に向けて、勲章を国が授与するものです。

また、平成30年12月5日（水）、鹿児島県更生保護功労者顕彰式が行われ、与論町保護司である大田英勝氏が法務大臣表彰を受けられました。
おめでとーございませす。



▲大田英勝氏 更生保護功労者 法務大臣表彰



▲大田 元茂氏 瑞宝双光章叙勲



▲麓 才良氏 旭日双光章叙勲（左）
柳田 健一氏 旭日単光章叙勲（右）
※写真は代理 柳田孝志氏

交通死亡事故ゼロを更新

平成30年12月9日（日）、第34回産業祭が行われ、雨にも関わらず大勢の人が来場され、手にいっぴいの買い物を楽しませていました。

会場では、平成30年10月23日をもって、『交通死亡事故ゼロ3000日』を達成したことを記念して、与論町嶋中安穩協会主催によるセレモニーと、一日署長による交通安全啓発運動（会場パトロール）が行われました。

セレモニーにあたり小・中・高校生から交通安全に関する標語、こども園の園児を対象に絵画のコンクールを実施。最優秀賞に表彰状が贈られました。



【標語コンクール最優秀賞 受賞者】

- 茶花小学校1年 濱田 奏さん
- 那間小学校6年 齋藤 美空さん
- 与論中学校1年 久志 奈々葉さん
- 与論高校 3年 吉田 晃輔さん

【絵画コンクール最優秀賞 受賞者】

- 与論こども園 沖 奈都さん
- 茶花こども園 平川 千佳さん
- 那間こども園 沖 蓮志さん
- ハレルヤこども園 福 心愛さん

応募してくれたみなさん、とーとがなし！



日頃から、防災の意識を忘れずに。

水槽付消防ポンプ自動車清祓式

平成31年2月26日（火）、与論町消防団に新しく、総重量8トン未満の水槽付消防ポンプ自動車が入庫され、清祓式が執り行われました。

本車輛は高圧噴霧装置（水を最適なミスト状態にすることにより、熱を吸収し、少量の水で火災を鎮圧することが可能）等の多様で高性能な機能をもちます。
あまり活躍してはなりません、火災・災害の際は町民の人命・財産を守るために活躍する車輛です。

与論町嶋中安穩協会への寄付

平成31年3月15日（金）、有限会社有村運送店代表取締役竹林 顯英氏より、与論町嶋中安穩協会へ十萬円の寄付を頂きました。本町は、平成30年10月23日『交通死亡事故ゼロ3000日』を達成し、今なお継続中です。

頂戴いたしました貴重な寄付金は、本協会の主旨である「安心・安全な町づくりの推進活動」を更に発展していくために活用させていただきます。



町内の安心・安全を願う
お心ある寄付金を賜りました。
誠にありがとうございます。

改選

人権擁護委員の改選

平成31年1月1日より元井勝彦さんと松山陽右さんが新たな人権擁護委員として委嘱されました。

人権擁護委員とは日常生活の中で人権尊重思想の高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済し、人権を擁護していくという考えから設けられた制度です。
与論町の現在の人権擁護委員は3名。
竹真弓さん、元井さん、松山さんです。

保護司の改選

平成31年2月1日より富士川浩康さんが新たな保護司として法務大臣より委嘱されました。

保護司は、地域社会の中で、犯罪を犯した人や非行に走った人たちの立ち直りの援助や、地域住民からの犯罪や非行の予防に関する相談に応じ、必要な助言・指導を行うなど、更生保護行政の重要な役割を担っています。与論町の現在の保護司は4名。大田英勝さん、町政枝さん、川畑義谷さん、そして富士川さんです。

戸籍の窓

平成30年度分

※出生、死亡、婚姻とも掲載許諾を頂いた方のみ掲載しています。(敬称略)

お誕生おめでとうございます

(氏名・保護者・集落)

平成30年 1月届出分

野田 詩乃 勇一 茶花

2月届出分

吉田 光篤 真力 朝戸
大内 梨花 克仁 茶花
森 海翔 隼樹 茶花
浦口 紗和 昭和 那間

3月届出分

竹森 みゆり 俊之 城
林 幸佳 孝幸 西区
清水 柳誠 領二 城

6月届出分

池田 のぞみ 大吾 茶花
仲田 麗良 有良 城

7月届出分

濱田 芽希 孝之 西区

重吉 千佳 勇佑 城

栄 皇成 達也 西区

瀬戸口 健心 健治 那間

沖 優里音 道成 那間

池田 清道 穂功 茶花

8月届出分

鬼塚 陽花葵 祐二 茶花

9月届出分

池田 幸矢 耕二 茶花

町島 優芽 円貴 茶花

10月届出分

池田 蓮 良武 那間

阿田葉 瑠架 誠也 茶花

11月届出分

麓 大晟 誘市郎 城

柳田 結良 国広 城

12月届出分

南 華純 仙太 叶

益山 巴那 旦 城

平成31年 1月届出分

奥野 湊斗 喬介 茶花

重久 明豊 琢治 東区

2月届出分

町田 朝陽 和也 城

綾田 由行 行 茶花

森 保乃華 隼樹 茶花

3月届出分

岩山 紗桜 勝志 茶花

「冥福をお祈りします」

(氏名・享年・集落)

平成30年 1月届出分

盛 菊道 94歳 東区

西田 秀吉 82歳 茶花

池田 行廣 88歳 那間

平 静枝 90歳 城

池田 静江 98歳 朝戸

保 八ナ 97歳 城

山内 先悦 88歳 茶花

岑山 先直 73歳 東区

川崎 洋子 93歳 西区

川上 浦純 91歳 茶花

叶 秀次 64歳 立長

阿多 八ナノ 91歳 那間

高橋 チヨ 94歳 古里

豊山 勉 53歳 那間

山下 繁光 70歳 那間

叶 喜志業 89歳 立長

伊東 達雄 92歳 城

酒勺 節子 59歳 茶花

山 梅 94歳 叶

3月届出分

竹吉 カメ 99歳 東区

川上 ウメ 94歳 茶花

尚樹 正範 70歳 東区

林 富一郎 84歳 那間

田中 敬雄 69歳 茶花

大田 幸江 59歳 茶花

瀧澤 納谷 97歳 東区

奥 子ヨ 97歳 茶花

栄 福則 63歳 東区

野口 ウメ 98歳 立長

岡本 重仁 88歳 茶花

大田 和夫 58歳 古里

里 美佐枝 88歳 東区

竹内 中森 91歳 古里

川田 華子 89歳 那間

堀 幸子 76歳 城

12月届出分

永井 政雄 90歳 東区

興 恵三 72歳 立長

川上 ス工 84歳 朝戸

2月届出分

竹中 弘房 82歳 那間

出村 哲朗 79歳 立長

川田 金元 90歳 那間

岩下 カメ 99歳 東区

3月届出分

富 保榮 87歳 茶花

裾分 洋子 75歳 立長

川上 富也 79歳 茶花

中村 安治 96歳 立長

川畑 辰雄 90歳 茶花

いつまでもお幸せに♡

(氏名・地区)

平成30年 1月届出分

栄 達也 茶花

南 ひびる 西区

瀬戸口 健治 曾於市

林 沙矢香 那間

2月届出分

向井 秀一 立長

小林 碧 千葉県

4月届出分

岩下 富孝 古里

佐々木 くみ子 古里

杉田 恭宣 朝戸

大原 裕美 古里

8月届出分

嶺 匠 茶花

橋口 綾乃 立長

10月届出分

田畑 和将 那間

梅花 三月 西区

12月届出分

綾田 行 埼玉県

裾分 彩乃 茶花

山下 輝 立長

中村 優 立長

町本 大地 那間

澤村 佳奈 埼玉県

平成31年 1月届出分

松村 勇也 叶

町村 夏海 叶